TTPU
Transport and Tourism Policy Research Unit

Guest Speaker Seminar

GraSPP
THE UNIVERSITY OF TOKYO

企業経営の革新を通じた交通インフラの改善

日時：12月3日(火)16:50-18:35(5限)

場所：国際学術総合研究棟4階
SMBC Academia Hall（対面授業にて開催）

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、㈱アイシンビジネスプロモーション部チョイソコサービス企画室長 杉山 仁氏からお話を伺います。

人口減少や都市部への人口集中、乗客や乗務員の高齢化によって、地方交通は、苦しい状況にある。特に、買い物や通院が容易ではない移動困難者が増えており、状況は、益々悪化しています。そこでアイシンは、培ってきた位置情報と経路検索のノウハウを活用した乗り合い送迎サービス「チョイソコ」を企画し、2018年に愛知県豊明市で運行をスタートさせました。

このAIオンデマンド交通サービスでは、実証実験で終わらせないために、利用者のニーズを吸上げて、使い勝手の良さを重視し、過度に デジタル化しないプラットフォームを構築し、地域に合わせた形をつくり運用しています。更に、様々な企業とタイアップしたり、単なるシステム提供に留まらない”コトづくり”で、社会保障費削減など社会課題への取り組みを目標に、全国で展開を広げているが、事業の持続性の観点で課題も多い。本講においては、地域の活性化のため、”移動の手段”の提供のみならず、”移動の目的”の創出と、それを支える”エコシステム”で社会貢献を目指した「チョイソコ」の取り組みについて、皆で本質的な議論を行います。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします
（使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。）。

ー問い合わせ： 交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jpー

㈱アイシンビジネス
プロモーション部
チョイソコサービス企画室長
杉山 仁 氏

TTPU
Transport and Tourism Policy Research Unit

Guest Speaker Seminar

GraSPP
THE UNIVERSITY OF TOKYO

地域公共交通の統合的政策
～欧州の政策に学ぶ～

日時：12月10日(火)16:50-18:35(5限)

場所：国際学術総合研究棟4階
SMBC Academia Hall（対面授業にて開催）

公共政策大学院では、「地域交通政策研究」の授業において、下記のとおり、関西大学経済学部教授 宇都宮浄人氏からお話を伺います。

日本では、地方都市圏を中心に、地域公共交通の運営に行き詰まりを見せています。これに対し、欧州は、1990年代ごろから持続可能性という観点を重視し、地域公共交通のサービス改善、新規投資を行ってきました。本講義では、オーストリアやイギリスの実例も踏まえつつ、欧州が進めている交通政策を検討します。具体的には、QOLの向上という観点から将来のあるべき都市の姿を描き、持続可能な都市モビリティ計画(SUMP)を策定していること、地域公共交通を「公共サービス」と位置付け、行政が事業者と契約(PSO契約)を結ぶ形の運営を行うことで、まちづくり関連施策と交通政策を一体化した統合的政策(integrated policy)を進めていることを学びます。

※履修登録者以外の本学学生の参加を歓迎いたします
(使用言語：日本語、本学学生以外の一般の方は参加出来ません。)。

ー問い合わせ： 交通・観光政策研究ユニット ttpu@pp.u-tokyo.ac.jpー

関西大学経済学部教授
宇都宮 浄人 氏